

ダイアボンド No.218GK

ダイアボンドNo.218GKは、金属やガラス、ゴムなど接合部間の間隙充填および接着兼用のクロロプレングム系シーリング材です。

§ 特長

1. いろいろな下地への密着性に優れ、強い接着力を有します。
2. 耐水、耐老化性に優れます。
3. 体積収縮が割合少なく、気密、水密性が良好です。

§ 用途

1. 建築、車両、自動車、船舶、電気業界などで気密、水密を必要とする箇所へのシールおよび接着
 2. ゴム、ガラス、木材、石材、金属などの接着および接合部の間隙充填
 3. 自動車、鉄道車両など窓部のシール
- ☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

主 成 分	クロロプレングム
外 観	暗灰色
不 揮 発 分 (%)	54 ± 2
粘 度 (mPa·s) at20°C	40,000 ~ 120,000
指触乾燥時間 (分) at20°C	4 ~ 8
粘着保持時間 (分) at20°C	20 ~ 30
保 証 期 間 (月) at25°C	10
引 火 点 (°C)	5
発 火 点 (°C)	480

§ 使用方法

1. 前処理 被着材表面の水分やゴミ、油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。
2. 塗布方法 チューブやヘラ、シーリングガンなどで所定の位置に充てんします。

☆一般接着の場合

- ・被着材の両方に均一に塗布し、5～15分間乾燥してから、はり合せます。
- ・塗布量は、片面当り 150～250 g/m² (両面で 300～500 g/m²) 塗布して下さい。
- ・はり合せ後、充分に加圧して接着します。

§ 接着性能

1. 接着強さ

		はく離強さ (N/25mm)		せん断強さ (MPa)	
		TM/Can	ガラス/NR	合板/合板	TM/ABS
常 態	1時間	18	11	0.1	0.1
	24時間	61	47	0.6	0.3
	48時間	78	56	0.7	0.5
	96時間	102	69	1.3	0.6
熱老化	70℃・96時間	100	56	3.5	1.2
耐 熱	80℃	18	10	0.2	0.1
耐 寒	-20℃	103	60	1.2	1.0
耐 水	48時間	72	55	0.7	0.6

TM：アクリル塗装鋼板 Can：綿帆布 NR：天然ゴム ABS：ABS板

試験方法 JIS K 6854 , K 6850 に準ずる

2. 軟化温度

1 日 目	70 ~ 80 °C
3 日 目	90 ~ 100 °C
10 日 目	100 ~ 120 °C

被着材：鋼板/天然ゴム/鋼板

試験方法： JIS K 6833 に準ずる

§ 注意事項

- ・火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- ・取扱い作業中には、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護手袋、前掛けなどを着用して下さい。
- ・火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いて下さい。
- ・目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けて下さい。
- ・蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、水で口の中をよく洗い、ただちに医師の診察を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合は、すぐに付着物をふき取り、水と石けんでよく洗います。
- ・容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・器具の洗浄にはトルエンをご使用下さい。
- ・容器からこぼれた場合には、布で拭きとって、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・廃棄する場合、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・消防法：第四類第一石油類（非水溶性液体）（危険等級Ⅱ）

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。